

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	河内長野市高齢者保健福祉計画等推進委員会
2 開催日時	平成29年8月3日(月)午後1時30分から3時20分まで
3 開催場所	市役所 301会議室
4 会議の概要	1、河内長野市の高齢者状況分析報告について 2、地域包括支援センターの運営状況について 3、その他
5 公開・非公開の別 (理由)	公開
6 傍聴人数	3名
7 問い合わせ先	(担当課名) 保健福祉部 いきいき高齢・福祉課 (内線260)
8 その他	

平成 29 年度 第 1 回河内長野市高齢者保健福祉計画等推進委員会 議 事 概 要

日 時：平成 29 年 8 月 3 日（木）13:30～15:20

場 所：河内長野市役所 301 会議室

出席者：神部委員、外山委員、築瀬委員、吉村委員、山田委員、浅井委員、
杉浦委員、前川委員

〈欠席：生地委員、千田委員〉

【事務局】介護保険課：和田課長、黒木課長補佐、吉田係長

いきいき高齢・福祉課：中橋課長、山内課長補佐、園山主査、中條主査

東部地域包括支援センター：峯山管理者

中部地域包括支援センター：芦田管理者

西部地域包括支援センター：森田管理者

開会

〈委員委嘱状の交付〉

- ・ 6 月 1 0 日付け委員委嘱状を中橋いきいき高齢・福祉課長から交付。

〈会長・副会長の選出〉

- ・ 会長には、神部委員（学識経験者）、副会長には、外山委員（医師会選出）が互選される。

案件 1 河内長野市の高齢者状況分析報告について【介護保険課から説明】

- ◆ 河内長野市で介護サービス利用率は全国平均及び大阪府平均よりも低い。これは不安感からとりあえず認定を受けているだけというケースが多いと推測される。
- ◆ 河内長野市では、居宅サービスの利用数が全国平均及び大阪府平均よりも高いが、市内の施設等整備率が低いため、いわゆる「ロング・ショートステイ」を利用している人が多く、これらが居宅サービス利用者となっていることが要因の一つである。

〈質疑応答〉

【外山委員】

河内長野市の高齢者の単身世帯数や単身世帯率を正確に把握できているなら教えていただきたい。

【事務局】

平成 27 年の国勢調査結果がまだ纏まっていないため、現在の数値は把握できていませんが、平成 22 年国勢調査の結果では、65 歳以上の単身世帯率が 20.7%、夫婦のみの世帯率が 37.0%となっています。大阪府下では比較的低い方ではないかと思います。また単身者カウントの中には、実態としては子ども等と同居していても、届出上、世帯分離していれば、単身としてカウントされます。

【築瀬委員】

健康に対する意識が高いと認定率が低い、という結果は健康寿命延伸の観点からも重要

な視点であり、この分析結果をぜひ活かしてほしい。

【神部委員】

健康に対する意識をどう高めていくのか、が課題。そのあたりの取り組み状況はどうか。

【事務局】

この分析結果をできるだけ多くの市民の方々に周知していきたい。

また、健康づくりの高陽につながる取り組みについては、従前から行っている介護予防教室の推進をはじめ、今年度からスタートした「総合事業」「地域の支え合いづくり」などを通じた高齢者の社会参加等の促進などにより介護予防効果を上げていきたいと考えています。

また、ケアプランについても自立支援に視点をおいて進めていきたい。健診の受診を高める取り組みも重要である。

【山田委員】

平成29年度に、要支援者のサービスが介護保険から外れて、市町村の地域支援事業に移行したと聞いているが、状況はどうか。

【事務局】

本市では、訪問型・通所型とも従前の制度と同等の「現行相当サービス」を実施しており、特に混乱なくスムーズに移行している。

【神部委員】

河内長野市では70歳手前の人の層が多く、この先5年～10年程度で急激に需要が増加すると考えられる。健康づくりや介護予防事業の一層の取り組みが必要と考えられるが状況はどうか。

【事務局】

介護予防体操等の普及などで各地域に万遍なく入っているが、今後はそれぞれの地域で自主的に取り組んでいただけるような仕組みづくりを更に推進したい。

【吉村委員】

2025年問題が目前となっている。元気アップ教室など利用者は増えており、地域においても自主的なラジオ体操などが広がっている。支え合う体制や意識づくりを進めないといけない。いろいろな所でいろいろな交流が行われていることが大事。

【事務局】

ラジオ体操などは自然発生的に増えていることは認識している。直接的な支援はできなくても、広報でお知らせするなどの支援で広がっていくと思う。

案件2 地域包括支援センターの運営状況について

【いきいき高齢・福祉課及び各地域包括支援センターから説明】

<質疑応答>

【神部委員】

全体的に業務が増えていると感じる。また継続支援で数字に現れていない業務もある。

資質向上にも3包括で取り組まれていると思う。

【吉村委員】

収支報告については割愛されたが、決算額が予算を上回っており、財務上大変なのではないか。

【神部委員】

市委託料の予算額の見直しはあるのか。

【事務局】

市の財政が厳しく、来年度は7%削減をしなければならない状況ではあるが、必要なものは確保していきたい。

その他

- ◆ 事務局から、第7期計画策定のスケジュールと、それに伴う推進委員会の開催予定について、説明。
- ◆ 次回の推進委員会は10月頃、次々回は11～12月頃を目途する。

以上

《終了：15時20分》